REIMEI

vol.44
No.3
Kagoshima Prefectural Museum of Culture Reimeikan
鹿児島県歴史・美術センター黎明館だより「黎 明」

Contents

特集
企画展
さつまの刀−900年の匠のしごと−

研究ノート
柏田盛文と鹿児島県会

活動報告

常設展示のココに注目
薩摩刀コーナー

学芸員EYES! 第19回
円筒埴輪

黎明館のフカボリ㉒
敷地散策のススメ **鹿児島城石垣の隅欠**

黎明館NEWS

イベントスケジュール

特集

企画展

さつまの刀
−900年の匠のしごと−



鹿児島県指定有形文化財
刀 銘（一ツ葵紋）主水正藤原正清

さつまの刀

－900年の匠のしごと－

令和8年 12月10日㈭ ― 令和9年 2月28日㈰　黎明館3階 企画展示室

薩摩刀の歴史は平安時代に始まり、幕末まで約900年にわたって受け継がれてきました。その長い歴史の中で、薩摩の刀工たちは、大和伝や相州伝など全国の優れた技法を取り入れながら、独自の作風を育み、多くの名工を生み出しました。

本展では、江戸時代の作品を中心に、波平系にはじまる薩摩刀の歩みをたどります。将軍にその技を認められた正清・安代や幕末に活躍した元平・正幸など、時代を代表する刀工たちの刀を紹介しながら、受け継がれてきた技術と美しさに迫ります。

900年にわたる刀工たちの「しごと」の積み重ねに触れていただければ幸いです。

◎　鹿児島県指定有形文化財
○　鹿児島市指定有形文化財

第1章 薩摩刀の誕生 ―波平と大和伝―

薩摩刀は平安時代に大和国（現在の奈良県）から、薩摩へ移住した刀工・正国が、現在の鹿児島市東谷山付近で作刀を始めたことが、その起源とされています。この地には良質な砂鉄や豊かな森林資源があり、刀剣製作に欠かせない木炭を安定して確保できるなど、刀鍛冶に適した環境が整っていたといわれています。



○ 短刀：銘 波平友安作　室町時代・14世紀後半



短刀：銘 波平清安作　室町時代・天文(1532 ～ 1555)頃

第2章 新風を呼んだ相州伝 ―正房とその門人たち―



◎ 刀：銘 薩州住藤原正房　元和(1615 ～ 1624)頃

大和伝の波平に転機が訪れます。慶長(1596 ～ 1615)の頃、藩主家久が刀工正房に、相州伝を学ばせたのです。師と仰いだのは、京都の研師で鑑定家として有名で、相州伝の正宗の鍛錬法を知る竹屋源七郎延安でした。相州伝を学んだ正房は、これまでの大和伝に相州伝等の優れた鍛錬技法を取り入れた、薩摩独自の特色を形成していくことになります。そして正房に学んだ門人たちは、その技を習得し、薩摩刀を大きく発展させていきました。

第3章

将軍が認めた薩摩刀
―正清と安代の活躍―

江戸中期に、全国から優秀な３人の刀工が選ばれました。そのうち２人は薩摩の刀工で、宮原正清と一平（いっぺい）安代でした。八代将軍徳川吉宗の浜御殿で、鍛刀するという栄冠を獲得したのです。その結果、刀の出来栄えを認められた２人は、一ツ葉葵紋を刻むことを許された上に、それぞれ主水正（もんどのかみ）と主馬首（しゅめのかみ）に任官されました。

正清は正房の門に学んだ一人です。



刀　銘（一ツ葉葵紋）主水正藤原正清



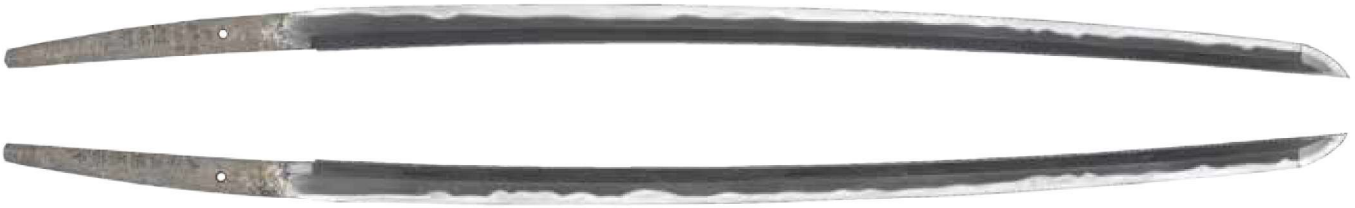
一ツ葉葵紋



一ツ葉葵紋



刀　銘（一ツ葉葵紋）主馬首一平藤原安代



◎ 刀：銘(一ツ葉葵紋)主水正藤原正清　遥奉鈞命於薩州作之　享保甲辰年　享保9(1724)年



◎ 刀：銘(一ツ葉葵紋)主馬首一平藤原安代　遥奉鈞命於薩州作之　享保甲辰年　享保9(1724)年

第4章

幕末を彩った名工たち
―元平と正幸の世界―



◎ 刀：銘 奥大和守平朝臣元平　寛政十午春　寛政10(1798)年



脇指：銘 伯耆守平朝臣正幸　八十歳造

幕末に全国で人気だった刀工が、薩摩の元平と正幸でした。２人は鍛刀界の第一人者と評価され、遠く尾張家の元長（もとなが）や会津藩の元興（もとおき）なども来薩してその門に学びました。

関連イベント（申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。）

学芸講座（展示解説講座）
「さつまの刀－900年の匠のしごと－」

- 講師｜黎明館学芸課長　切原 勇人
- 日時｜令和9年1月17日（日）13:30 ～ 15:00
- 会場｜黎明館3階　講座室
- 申込｜事前申込制（電子申請または往復ハガキ）
  応募期間:12月11日（金）～ 12月25日（金）

※ 講座後に、企画展示室で展示解説を行います（要団体入館料）

黎明館講演会
「京@みやこ@と薩摩」

- 講師｜京都国立博物館
  学芸部工芸室主任研究員　末兼 俊彦 氏
- 日時｜令和9年1月30日（土）13:30 ～ 15:00
- 会場｜黎明館2階　講堂
- 申込｜事前申込制（電子申請または往復ハガキ）
  応募期間:12月1日（火）～ 1月13日（水）

※ 講演会後に、企画展示室で展示解説を行います（要団体入館料）

展示解説

- 日時｜令和8年
  12月19日（土）13:30 ～ 14:10
  令和9年
  1月17日（日）15:10 ～ 15:50
  1月30日（土）15:10 ～ 15:50
  2月20日（土）13:30 ～ 14:10
- 会場｜黎明館3階　企画展示室
  （要入館料、事前申込不要）

柏田盛文と鹿児島県会

学芸専門員　坂口　洋幸

はじめに

企画展「鹿児島県誕生」でとりあげた、明治4（1871）年の廃藩置県から約20年間は、鹿児島県の県域が変化し、県令を中心に行政や産業、教育、医療などの県政の仕組みが整えられていった時期である。一方、この時期に成立した政治の場が県会である。県令が中央政府から任命された行政官であったのに対し、県会は制限選挙ながら地域から選ばれた議員によって構成されていた。明治前期の鹿児島県政を理解するには、県令の政策だけでなく、県会がどのように県政へ参加し、また時に県令と対立したのかを見る必要がある。初期鹿児島県会にたずさわった人物の一人として、柏田盛文を紹介したい。

1　柏田盛文の生い立ちと西南戦争

柏田盛文は嘉永4（1851）年、薩摩国薩摩郡平佐郷平佐村（現薩摩川内市平佐町）の武士の家に生まれた。柏田家は桓武平氏を祖とし、初代盛宗が日向国宮崎郡柏田郷を領して「柏田」を称したことに家名の由来をもつとされる。[*1] 明治7（1874）年7月、柏田は「遊学ノ為メ県下ヲ発足」[*2]し、同年9月17日、慶應義塾に入社し2年あまり学んだ。

帰郷後、鹿児島では私学校と政府との緊張が高まっていた。柏田は武力衝突を避けようとしたとされるが、西郷隆盛暗殺計画への関与を疑われ捕縛された。西南戦争後の明治10年12月、九州臨時裁判所は、取り調べの結果、処罰すべき落ち度は認められないとして放免とした。同年の「始末書」には、柏田自身の立場を「自主自治ノ精神」[*3]と述べている。人々が自ら社会を担うというこの考えは、のちの柏田の政治活動の原点となる。

2　初期鹿児島県会との関わり

明治11（1878）年の府県会規則を受けて他県より一年遅れ、明治13年に最初の鹿児島県会が開かれた。柏田は伊佐郡から選出され、5月11日に開会した第1回県会で初代副議長となった。同県会で柏田は、県立農商学校の設立を建議した。この建議は修正のうえ可決されたが、結局入学希望者が集まらず学校の開設には至らなかった。

また柏田は、同年9月に那珂・宮崎郡選出の議員川越進らと国会期成同盟を結成、11月には県下約3,500人の総代として国会開設建白書を太政大臣三条実美に提出し、「立法ノ権ヲ人民ニ附与シテ君民同治ノ政体ヲ確立」[*4]することを求めた。翌14年には自由党の創立にも参加して幹事となっている。柏田が、県会議員の活動と全国的な自由民権運動とを並行して進めていたことが分かる。柏田にとって、国会開設を求める自由民権運動と、県会を通じて政治に参加することは、「自主自治」の思想を具体化する政治的活動であったと考えられる。

3　鹿児島県地方税補充費徴収の件

柏田が県会議長を務めていた明治17（1884）年、地方税の補充費徴収をめぐり、県令と県会との間で法解釈と権限争いが起こった。発端は3月の臨時県会に県令・渡辺千秋が提出した明治15年度分の「予算不足并欠損金補充及徴収議案」である。

明治15年は松方財政下で地方税滞納が全国的に激増した時期にあたる。問題となったのは、まだ取り立てていない税金や、責任者の処分・弁償が終わっていない金を、その年度の「不足金」として県民から追加で徴収する議案を県会に提出してよいのか、ということであった。県会は、まず責任者の処分と回収を行うべきで、一般の納税者に転嫁する法的根拠はなく、それを県会に議させること自体が「法律ヲ越シテ県会ノ権限ヲ犯ス」と主張した。県令は、処分の完了を待てば決算が終わらないとして、未収分をいったん不足金として補充し、後日回収できた分は雑収入に入れると主張した。

この対立は、府県会規則第9条の規定に基づき、政府（太政官・参事院）へ審理と裁定を仰ぐこととなった。参事院の裁定は「経費決算ハ固ヨリ一定ノ期限アリ」として年度決算の確定を重んじ、県令が補充費徴収議案を提出したことについて、法解釈上の誤りも県会権限の侵害も認められないとした。ただし県令が県会抜きで課税できると認めたわけではなく、議案提出と県会の議決という手続きを前提に、県会の「そもそも議すべき案件ではない」という解釈を退けたものである。また、実際に不足金を県民から追加徴収したのかどうかまでは今のところ確認できていない。

おわりに

慶應義塾で学び西南戦争を経験した柏田は、「自主自治」を掲げて国会開設運動に加わり、県会では教育や地方財政といった課題に取り組んだ。地方税補充費徴収をめぐる争いは、地域の意思と県会の権限をどう県政に反映させるかという地方自治の課題を示している。

鹿児島県誕生は、県域や行政組織の仕組みが整うなかで、県令と県会がそれぞれの権限を主張し、対立や調整を重ねながら県政を形づくっていった過程とも言える。

*1　鹿児島県姓氏家系大辞典編纂委員会編著『鹿児島県姓氏家系大辞典』角川書店（『角川日本姓氏歴史人物大辞典』46）、1994年、551頁

*2　「鹿児島征討始末　別録二」、『鹿児島県史料　西南戦争　第一巻』昭和52年、257頁

*3　「鹿児島征討始末　別録二」、『鹿児島県史料　西南戦争　第一巻』昭和52年、259頁

*4　原口敬明編著『明治十三年全国国会開設元老院建白書集成』（明治史料 第2集、明治史料研究連絡会）1956年、120頁

参考文献
川内郷土史編さん委員会編『川内市史　下巻』昭和55年、川内市
『鹿児島県議会史　第一巻』昭和46年、鹿児島県議会

活動報告



キッズフェスタ

7月26日（日）に夏休み中の小学生を対象とした恒例イベント、「キッズフェスタ」が行われ、小学生とその保護者総勢18名が参加しました。今年は「アニマル！黎明館」と題して、展示解説員が出題するいきものにちなんだクイズに挑戦しました。













ミュージアムパートナー

黎明館では毎年10名程度のボランティアを募集し、「ミュージアムパートナー」として図書や資料整理の補助、広報活動の補助などにあたってもらっています。黎明館が好き、博物館に興味がある、学芸員を目指しているなど、様々な目的をもった大学生から社会人まで、幅広い年齢のボランティアが活動しています。
今年の企画特別展前には、展示ケースの清掃を行いました。ガラス面が汚れていないか、隅々に埃が落ちていないかなど、細かいところまで確認し、丁寧に掃除しました。







常設展示のココに注目

常設展示内の注目してほしい“場所”や“もの”をご紹介します。

常設展示3階　美術・工芸部門

薩摩刀コーナー



薩摩刀コーナーには、常時最大13振の刀剣類が展示されています。現在黎明館には約320振の刀剣類が保管されていますが（個人蔵含む）、薩摩刀コーナーでは4ヶ月に1回の頻度で展示替えが行われており、その度に異なる刀剣類と出会うことができます。また、期間限定で国宝や重要文化財の刀剣も展示されます。展示替え情報や国宝・重要文化財の展示情報はSNSで発信しているので、ぜひチェックしてみてください。

刀鑑賞のイロハ

刀は鉄でできている！

種類は太刀・刀・脇指・短刀



刀は片刃！両刃はほとんどない

拵（鞘・柄・鐔などの外装）が附属する

【鹿児島県指定有形文化財】　刀：銘　薩州住藤原正房

担当学芸員に聞いた 刀剣のギモン

Q どうして刃が上を向いているものと、下を向いているものがあるの？

A **刀の向きには理由があります！**

「刃が下」を向いていたら、馬の上で使う「太刀」、「刃が上」を向いていたら、地上で戦う「刀」です。戦い方の違いに合わせて、身につけ方も、展示する向きも逆になっています。

刀



太刀



Q 刀に付いている丸い穴は何のためにあるの？

A **柄を取り付けるための大切な穴！**

刀の穴は目釘穴といい、柄を固定するための穴です。改造して短くなった刀のバランスをとって固定するために、新たに穴をあけたことを示しています。



Q 刃のそばに見える模様は何？

A **刀工の技が表れる「刃文」**



刃の部分に見える模様を「刃文」といいます。美しい模様は装飾のようですが、刀を強くする「焼き入れ」という工程で生まれる模様です。
刃文には刀工ごとの個性が表れます。

薩摩刀の特徴はココをみるべし

形 反りの少ない姿



【鹿児島県指定有形文化財】
刀：銘（一ツ葉葵紋）主水正藤原正清

模様 穏やかな刃文



鍛え 美しい地鉄

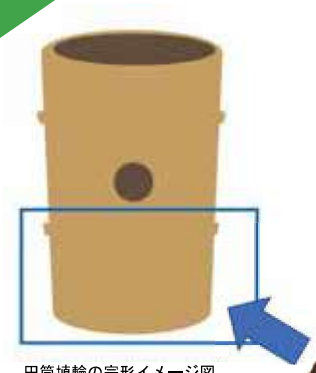


学芸員 EYES!

学芸員イチオシの収蔵資料を紹介します。

第19回 円筒埴輪

鹿児島では数少ない 前方後円墳から出土



円筒埴輪の完形イメージ図
（大手前大学史学研究所提供）



横瀬古墳出土円筒埴輪の一部

埴輪は古墳の墳丘に並べられた素焼きの土製品で、写真のものは円筒埴輪と呼ばれるものです。埴輪は、円筒埴輪と形象埴輪があり、私たちが一般に思い浮かべるのは、武人や動物・家などの形象埴輪です。では、円筒埴輪はどのようなものなのでしょうか？これは、古墳の墳丘上に並べられ、聖域である古墳とそれ以外とを区別する結界の役割を果たしていたと言われています。写真の円筒埴輪は完形品ではなく、その一部です。



出土した場所は、大崎町の横瀬古墳で、県内では2番目、九州では5番目の規模を誇る前方後円墳です。南九州の中でも宮崎県側では、巨大な前方後円墳が多く（約170基）みられますが、鹿児島県側では大隅地方に偏っておりその数も少ない（数十基）のが特徴です。

時代は、出土遺物などの特徴から、5世紀半ばまでには築造されていたと考えられています。そもそも前方後円墳はヤマト王権やそれに関係した者だけが造ることができるスタイルで、墓の作り方や副葬するものなど技術や知識を教える人が存在したはずですが、この円筒埴輪は、技法の面で成川式土器との共通要素（非常に厚いという特徴など）がみられ、在地の成川式土器を作っていた人たちが、この円筒埴輪づくりに動員されたとみられています。鹿児島では数少ない前方後円墳から出土したものであり、この残された埴輪片は当時の歴史を知るうえで非常に貴重な資料です。

学芸専門員　竹添 和寿（先史・古代担当）

黎明館のフカボリ 22

敷地散策のススメ

鹿児島城石垣の隅欠（すみおとし）



北東は鬼や災いなどが出入りする方角（鬼門）です。そのため、北東の出隅を欠いて入隅（いりすみ）とし、鬼や災いなどが入ってこないようにしたと考えられます。鹿児島城も築城する際に、北東の方向に隅欠を設けました。この隅欠は現在も残されており、隣接する国道や市道側から見ることができます。

編集後記

手に取られる広報物を目指して、表紙や色を変更したり、掲載内容を変更したりしてきました。今号は、学芸員による薩摩刀の見方、注目ポイントをまとめた記事を載せました。薩摩刀の他に、黎明館常設展示3階には、洋画、薩摩焼、書・日本画など、鹿児島の美術・工芸を紹介している部屋があります。展示を観覧する前に見方・注目ポイントを予習してみませんか？（田平）

編集・デザイン　田平晶子　中村友美

黎明館 NEWS

ミュージアムショップ・カフェの名称が「鶴丸喫茶室」に変更

これまでCHIN JUKAN POTTERY 喫茶室として営業していたミュージアムショップ・カフェの名称が変わります。新たな名称は鶴丸喫茶室です。引き続き、黎明館の展覧会図録をはじめとするグッズ販売や、喫茶室の営業を行っています。どうぞご利用ください。

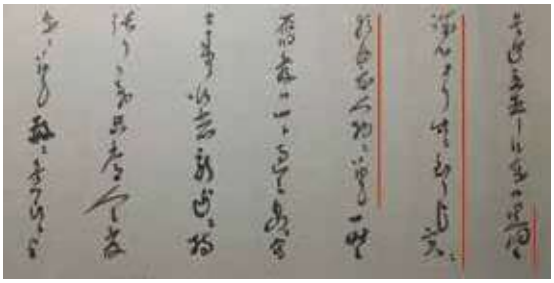
NEXT Exhibition　企画展　黒田清隆とその時代ー西南戦争を越えてー

歴史

会期：令和9年3月11日（木）～ 5月30日（日）

会場：黎明館3階　企画展示室

黒田清隆（1840–1900）は、薩摩藩出身者で最初に内閣総理大臣になった人物です。西郷、大久保が相次いで亡くなった後、明治政府の中で薩摩閥の中心に位置づけられました。その評価は、開拓使官有物払い下げ事件や酒癖の悪さから、高くない傾向があります。しかし、黒田は旧幕臣として最後まで抵抗した榎本武揚の才能を高く評価し、その助命を政府に強く求めてついに認めさせ、西郷は黒田を「実に頼もしき人物」と称賛しました。本展覧会では黒田に対する再評価に迫ります。



西郷隆盛書状　桂四郎（久武）宛（明治5年正月12日付）
「黒田の誠心より此に至り申候、實に頼母敷人物に御座候」とある。

講演会・講座（11月～ 1月）

事前申込制です。申込詳細は、チラシまたはホームページ・SNSでご確認ください。

日時	テーマ	講師	申込期間
学芸講座			
11/14（土）13:30 ～ 15:00	（展示解説講座）没後120年　十二代沈壽官と苗代川	主任学芸専門員（美術工芸）　深港 恭子	10/16（金）～ 10/30（金）
12/5（土）13:30 ～ 15:00	もっと知られてよい幕末薩摩藩士～高崎正風日記を読む～	主任学芸専門員（歴史）　崎山 健文	11/6（金）～ 11/20（金）
1/17（日）13:30 ～ 15:00	（展示解説講座）さつまの刀ー900年の匠のしごとー	学芸課長（美術工芸）　切原 勇人	12/11（金）～ 12/25（金）
1/31（日）13:30 ～ 15:00	鹿児島城と災害（自然災害と戦災）～西南戦争関連遺跡の紹介も含めて～	専門員（鹿児島城）　菅牟田 勉	12/25（金）～ 1/15（金）
2/7（日）13:30 ～ 15:00	島津氏と平等寺の関係	調査史料室長（歴史）　栗林 文夫	1/8（金）～ 1/22（金）
2/28（日）13:30 ～ 15:00	黎明館収蔵資料から見る中世島津家	学芸専門員（歴史）　吉峯 真太郎	1/29（金）～ 2/12（金）
講演会			
1/30（土）13:30 ～ 15:00	京@みやこ@と薩摩	京都国立博物館学芸部 工芸室主任研究員　末兼 俊彦氏	12/1（火）～ 1/13（水）

展示室貸会場イベントスケジュール（11月～ 1月）

黎明館開館時間（9:00 ～ 18:00）

期間	時間	イベント	会場	観覧料	主催者お問い合わせ先（敬称略）		備考
10/27（火）～ 11/1（日）	9:00 ～ 18:00（入場時間制限なし）	第50回 鹿児島合同写真展	第1	無料	鹿児島県写真協会 村上光明	099（203）0099	初日9:00開場 最終日16:00閉場
10/27（火）～ 11/1（日）	9:00 ～ 18:00（入場時間制限なし）	鹿児島フォトサロン写真展	第3	無料	鹿児島フォトサロン	0996（25）0018	初日9:00開場 最終日16:00閉場
11/3（火）～ 11/8（日）	9:00 ～ 18:00（入場時間制限なし）	2026鹿児島フォトアワード写真公募展	第1	有料	鹿児島県写真協会 村上光明	099（203）0099	初日9:00開場 最終日16:00閉場
11/21（土）～ 11/29（日）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	第81回 南日本美術展	第1・2	有料	南日本新聞社事業部	099（813）5053	初日9:00開場 最終日17:00閉場
11/21（土）～ 11/29（日）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	第26回 海老原賞滞欧作品展	第3	無料	南日本新聞社事業部	099（813）5053	初日9:00開場 最終日16:00閉場
12/4（金）～ 1/11（月）	9:00 ～ 18:00（入場は17:00まで）	大ピンチ展！	第1	有料	鹿児島テレビ放送株式会社 事業販促部	099（285）8966	初日10:00開場 最終日18:00閉場
12/5（土）～ 12/13（日）	10:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	「かごしま　工芸百人展2026」ーつくる・つながる工芸の現在地と未来	第2	有料	鹿児島陶芸家協会	099（274）2358	初日10:00開場 最終日16:00閉場
12/24（木）～ 1/6（水）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	JA共済小・中学生書道・交通安全ポスター作品コンクール展示会	第2	無料	JA共済連鹿児島	090（258）5565	初日9:00開場 最終日16:00閉場
1/10（日）～ 1/17（日）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	第110回　二科展巡回鹿児島展	第2・3	有料	公益社団法人二科会鹿児島支部	090（7162）6968	初日9:00開場 最終日16:00閉場
1/20（水）～ 1/24（日）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	第30回 松陽芸術祭	第1 2・3	無料	松陽高等学校	099（278）3986	初日9:00開場 最終日15:00閉場
1/29（金）～ 1/31（日）	9:00 ～ 18:00（入場は17:30まで）	第79回　鹿児島県書道展（小・中・高の部）	第1 2・3	無料	鹿児島県書道会	099（225）2121	初日9:00開場 最終日16:00閉場

お知らせ

黎明館では、常設展示の照明をLEDにリニューアルする工事を行います。それにともない、令和8年12月1日～令和9年4月25日までの約5ヶ月間は常設展示2階が利用できなくなります。ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。

Information

開館時間　9:00 ～18:00（入館は17:30まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は翌平日）、毎月25日（土・日・祝日の場合は開館）、12月31日～1月2日、そのほか館が定める日
観覧料　一般 430円　高・大学生 270円　小・中学生 160円（令和8年度まで）
〈年間パスポート〉一般 860円　高・大学生 540円　小・中学生 320円（令和8年度まで）
※ 観覧料が無料または割引になる場合があります。詳しくはホームページでご確認ください。

SNS

展示や催し物等の最新情報は
SNS（Facebook・X・Instagram）にてご確認ください。

@official_reimei　@official_reimei　@reimeikan　Homepage

鹿児島県歴史・美術センター 黎明館　〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号　☎099-222-5100　FAX.099-222-5143